

令和元年度事業報告

(公財)入善町農業公社

事業の概要

(公財)入善町農業公社では、農業の効率的で安定的な経営、なおかつ所得の増大を支援する事業の農地利用集積事業の推進や、地産地消の推進と合わせて担い手の育成支援等各種の農業に係る支援事業の推進を以下の通り取組んでまいりました。

- (1) 農地利用集積事業では農地中間管理事業への進展を促し、新規契約や公社通しの更新契約の推進により、農地利用集積面積は順調に伸びるとともに、受託者による受託農地の交換契約と仲間田の畦畔の除去も進めてまいりました。
- (2) 農業後継者育成支援事業の担い手確保事業は、入善高校農業科と連携を取りながら、長期農業体験研修や農業機械研修などを行い、人材育成に努めました。が、なかなか実践出来ないのが現状です。
- (3) 新鮮で安全な農産物の供給を支援する事業について、食への関心が深まる中、安全で顔の見える農産物の供給が求められており、各小中学校と生産者との連携を強化することで、品質の良い農産物を学校給食の食材として供給することが出来ましたが、一部の作物について天候不順等により生育不良や品質低下があり、出荷減となりました。
- (4) 都市と農村の交流活性化事業については、さつまいもや枝豆のオーナー農園を開設し広く募集し、農産物の大切さと地域農業のPRに努めました。が、さつまいも農園では天候不順等による生育不良から収穫体験を中止しました。

☆各事業内容については、以下のとおりであります。

効率的で安定的な経営を支援する事業

(1) 農地利用集積円滑化促進対策事業、農地中間管理事業

農地の賃貸借契約については、新規契約、公社通しの更新契約等積極的に推進し農地の保全と農地利用集積円滑化事業の拡大につとめました。

○令和元年度までの利用権設定内容(令和2年3月31日現在)

項 目	平成30年度	令和元年度
契約筆数(枚数)	8,544 枚	9,138 枚
受託者数(人)	426 人	440 人
委託者数(人)	2,580 人	2,701 人
契約面積(m ²)	15,407,121 m ²	16,414,820 m ²
賃借料平均単価(10a)	11,768 円	11,387 円

入善町全体の集積率は80.3%でその内44.4%は農業公社扱い(中間管理機構含む)

○実施事項

- ・相対契約満了時には、農地中間管理機構を含めた公社通し契約への移行推進。
- ・担い手への農地集積の取組、並びに受託者による受託地の交換の推進、受託地の仲間田の畦畔の除去。
- ・農地斡旋に伴う担い手農家への経営規模拡大支援の推進。
- ・農地の所有者の死亡による世代交代(特に相続者の県外移住)、未相続、所有者不明のものに対し整理をして来ていますが、思うように進まないのが現状であります。

経営改善支援及び担い手総合対策事業

(1) 経営改善支援事業

意欲ある農業者の育成と担い手農家の経営を支援するため、関係指導機関と連携を行い、取組む経営改善計画の策定や見直しなどの指導を行いました。

	内容	備考
経営改善計画認定者	124名	再認定 21 経営体
	(内法人化数 55 法人)	新規認定 4 経営体

(2) 新規担い手確保事業

新規担い手の研修と育成につとめました。

項目	参加人員	対象者
刈払機安全使用講習	30名	高校1年生(農機具課)
農業機械点検講習	6人	高校3年生(農機具課)
農業体験研修	21名	高校3年生(9農家)

○実施事項

- ・入善高校農業科との連携による農業機械研修(機械に慣れる、安全性、災害防止目的)の推進。
- ・経営改善支援活動の推進。
- ・新規就農相談の推進。

新鮮で安全な農産物の供給支援事業

(1) 学校給食食材供給事業

・学校給食では、新鮮で安心、安全な地元生産者の顔の見える農産物の供給に努めました。また、学校給食ふれあいの日には子供たちに生産者と給食を共にして農業と食の大切さを知ってもらう良い機会でありましたが、天候の不順などにより一部、受注どおりに食材を供給出来ませんでした。

○学校給食食材供給実績(4月～翌年3月)

(単位:数量 kg、金額:円、品目種類)

年度	取扱数量	取扱金額	種類
平成 26 年度	14, 292. 0kg	3, 869, 673	29 種類
平成 27 年度	11, 727. 0kg	3, 498, 462	28 種類
平成 28 年度	10, 312. 0kg	3, 278, 463	29 種類
平成 29 年度	10, 785. 1kg	3, 065, 470	27 種類
平成 30 年度	9, 721. 6kg	3, 497, 896	22 種類
令和元年度	8, 393. 7kg	2, 658, 842	26 種類

○実施事項

- ・栽培技術が統一された農産物を食材としての供給の推進。
- ・安全で顔の見える新鮮な地場産野菜の提供の推進。
- ・子供たちへの学習支援と合わせて調理師研修の開催。
- ・学校給食食材の契約栽培の推進。
- ・再度通年供給の推進と品目の拡大及び栽培の指導強化の推進。
- ・栽培者の減や天候の不順により品質の低下が目立った。
- ・若い女性グループへ(15名)の栽培推進や学校給食への出荷依頼。

(2)ふるさと産品メール事業

- ・入善産米つぶぞろいを主体に県内外向けに特産品や農産物加工品の発送を引き続き実施し顧客の拡大を図りました。

○対象品目及び実績内容

米、水、ジャンボ西瓜、チューリップ切花、球根、青島漬け、のしもち、豆な味噌、里芋、人参、梅干、ふんわりご飯、黒豆茶等

年度	取扱金額	備考
平成 26 年度	13, 179, 482 円	米、西瓜、水等
平成 27 年度	16, 234, 032 円	米、西瓜、水等
平成 28 年度	17, 665, 949 円	米、西瓜、水等
平成 29 年度	19, 460, 038 円	米、西瓜、水等
平成 30 年度	21, 451, 301 円	米、西瓜、水等
令和元年度	22, 631, 123 円	米、西瓜、水等

○実施事項

- ・ふるさと産品の PR 活動の展開。
- ・特産品や農産物加工品の PR 活動と発送の推進。
- ・田中精密工業株式会社の利用が年々増加傾向にあります。(米、水)

◎田中精密工業の過去の利用関係(平成16年～開始)

	5k入り袋	3k入り袋	金額(円)
平成26年度	470袋	3,199袋	8,494,005
平成27年度	485袋	4,822袋	12,042,400
平成28年度	495袋	5,543袋	13,887,600
平成29年度	485袋	6,224袋	15,466,710
平成30年度	454袋	6,851袋	18,215,130
令和元年度	427袋	6,964袋	19,339,424

都市と農村の交流活性化支援事業

(1)都市と農村のふれあい交流事業

- ・ふれあい農園のオーナーを募集し収穫体験の取組、農業への理解と消費者との交流を深め農産物の消費拡大と町のPRに努めました。

○実施事項

- ・各種イベント参加による地場産品のPRと販路の拡大推進。
- ・入善幼稚園児等によるさつまいもの植え付けと収穫を体験させ収穫の喜びを分かち合いました。

さつまいも		枝豆	
年度	申込み口数	年度	申込み口数
平成26年度	142.5	平成26年度	10
平成27年度	190.0	平成27年度	25
平成28年度	169.0	平成28年度	10
平成29年度	202.0	平成29年度	15
平成30年度	208.0	平成30年度	17
令和元年度	182.0	令和元年度	13

- ・さつまいも1口当り10株で10kg前後収穫(栽培：野中地区、管理者：田中吉春)
(収穫体験：入善幼稚園は9月25日に実施しました。一般オーナーは、例年10月上旬から中旬頃までの間で行いますが、元年度は、初日が10月5日で実施したものの、生育不良が判明し、翌日以降分はやむを得ず中止しました。)
- ・枝豆1口当り20株で15kg前後収穫
(栽培：桐山地区、管理者：ドリームファーム)
(収穫時期は8月6日から10日までの期間)